

CONV/RGENCE

コンバージェンス

#3

A LEAGUE OF LEGENDS STORY™



完璧な人生

LOREY LEWIS



RIOT FORGE

O'BRYAN • SMITH • ZAMORA • BRIGHTBILL

ピルトーヴァー & ゾウン

階層図

ピルトーヴァーとゾウン——この2つの都市は、世界の技術発展を担う中心地である。

地上にあるピルトーヴァーは時計のような正確さで動く、豊かで清潔な夢の都市だ。

その地下にある姉妹都市のゾウンは雑然とした無法地帯であり、住民はそれぞれの夢を自由に追っている。豊かな地上都市の陰で生きるゾウン人は、純粋な意志の力と発明の能力をもって何とか日々の暮らしを送っている。地下都市を覆う化学スモッグの薄闇の中、彼らはより良い暮らしを夢に見て、それを実現しようと奮闘しているのだ。

—ジェイスの作業場

ピルトーヴァー
↑↑↑

プロムナード階層

中層階

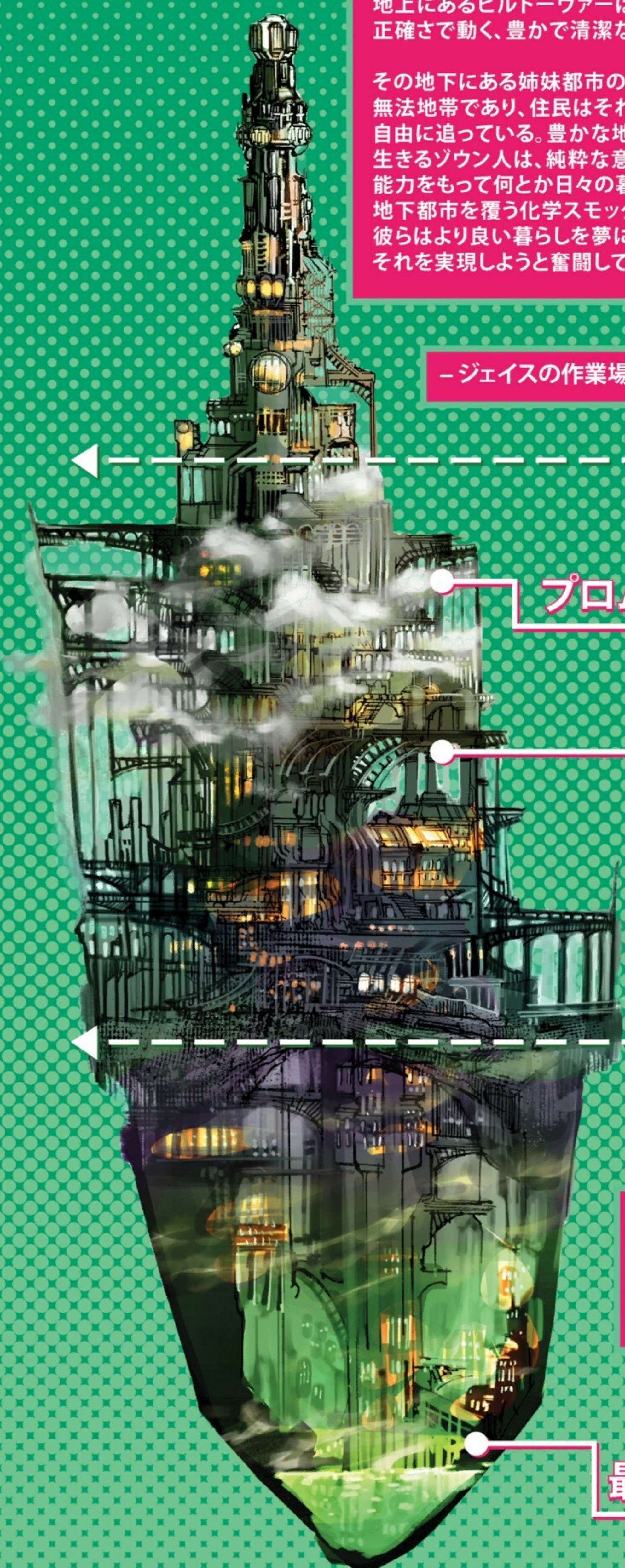
—祝勝祭会場
—ヴァン・クレグ工業


ゾウン上層
↑↑↑

—エコーのアパート
「ゾウンの迷子たち」
秘密基地
—ビクターの旧研究所

最下層

アート制作:
Eric Canete





エコーはゾウンに住む
ティーンエイジャーの
発明家だ。この都市では
科学技術を使いこなすこと
こそが、明るい将来へと続く
最善の道だとされている。
彼の最高傑作である
「ゼロ・ドライブ」は、
時間を巻き戻すことができる。
つまり、エコーは数秒前の過去を
やり直すことができるのだ。
エコーはこの装置を使って、
人生のあらゆる出来事を
やり直してきた——ちょっとした
ミスから、人生を左右するほど
大きな過ち、その中間のものに
至るまで。

しかし、時間を改変する
ということは、エコーやその家族、
友人たち、そして世界にすら
深刻な影響を及ぼす可能性が
あるのだ…

『コンバージェンス』の前日譚に
あたる本作において、エコーは
タイムトラベルによって得られる
チャンスを諦め、やり直しのきかない
人生を送ることを思い描く。
だが時間に手を出さず、その流れに
身を任せるとするのは、想像以上に
難しいことだった…

CONV/RGENCE

コンバージェンス

A LEAGUE OF LEGENDS STORY™

完璧な人生

John O'Bryan

WRITER

Dietrich O. Smith

LAYOUTS

Dietrich O. Smith (1~4話)

Crizam Zamora (5話)

PENCILS

Dietrich O. Smith (1話)

William Wolford (2話、4話)

Crizam Zamora (3話、5話)

INKS

Kyle Brightbill

COLORS

Studio RAM

LETTERING (EU LANGUAGES)

Comicraft's Tyler Smith

LETTERING (NON-EU LANGUAGES)

Corey Lewis

COVER ARTIST

Sabrina Futch

Gate Gary (1話~3話)

EDITORS

Molly Mahan

COMICS NARRATIVE LEAD

Mary Gumport

SPECIAL THANKS



エコーのアパート

もう人生を
いじるのはやめた

それは何だ？
私の目玉に入れるん
じゃないよな？

違いますよ。
今日は術前診察に
来たんです。
測定する
だけです

特に
他の人たちの
人生は

悪いのは
目なんだが。
どうして首を
測定して
いるんだ？

オレがしたことを
父さんに話す機会
があった。ゼロドライブ
を使って父さんを操った
ことを…

ヴァン・クレグ製の
身体拡張は
どれも神経系に
直接
接続されます。

だからこそ、
患者さんたちは
あれだけ
正確な
操作を自在に
できるんです

おいおい！

…タイムトラベルを
使って、父さんの
気が変わるまで
巻き戻しを
繰り返したことを

今の話は
不安だな。本当に
安全なのか？

…たとえ正しいことを
してもらうため
だとしても、オレは
父さんを騙したんだ

うーん…
まあ…道理には
かなってるんじゃないかな…その、
神経に繋ぐのは…

ずいぶん
自信なさげ
だな。

いつもは
もっと、
納得のいく
説明を
するじゃないか

…でも、話して
良いことなんか
あるか？

他に
選択肢は
ないよ…

でも、決めるのは
父さんだ。
父さんの判断に
任せるよ

これが**最善の**
シナリオなんだ

わかった…
やってみよう

もう操ったりしない。
巻き戻しもしない

本物の人生を
歩むんだ

うっ。
苦しいな

すみません。
すぐに終わります
から

はい。これで手術を
受ける準備が
整いました

父さん、オレ行かなくちゃ。
明日の朝一番に研究所で
会おう

これからはすべて
一発勝負だ

特に今日は**一発で**
決めなきゃならない

スクラップタウン・ラン
の日だからな

スクラップタウン
最下層

何だって?!

ゼロ・ドライブを
捨てたんだ

えええ!
な——な…
——なんでだよ?!

何度も巻き戻して
すべてを完璧に
しようとする…
そんな生き方
してちゃダメだ。
オレはありのまま
でいたい

そ——そうか。でも、
ありのままになるのに、
とんでもねぇ日を選んだな、エコー。

スクラップタウン・
ランが終わるまで
待てなかったの
かよ?

ゾウン中のギャングが
レースに参加するんだぜ。
弱いところを見せたら何を
されるかわかってるだろ。
食べ物にされるぞ

今回ばかりは
スキッズが
正しいよ

巻き戻しに頼りすぎ
とは言ったけど、
命が懸かっている時に
使うなどは
言ってない。

何か機械の
助けがなきゃ、
参加できないよ

でも大丈夫——
僕たちに任せて



チャンシーと一緒に徹夜して、スーパーガジェットを作ったんだ!

僕が作った壁を登れるパルクールブーツは、何にでもくっつくようになったよ

アタシのロケット付きニーパッドも、ついにロケットが付いたよ!



まだまだ沢山あるんだスリングショット・パンツを試してみる?

チャンシー、気持ちは嬉しいけど、今回のレースを走るのにガジェットは必要ない。オレは...

遅れてごめん!



新しい脚に今日なったばかりでね。わかるでしょ

レッド、アクシー! お前たちも改造したんだな!

こ、このレースに本気で取り組んでる奴がいて嬉しいよ! オレとこの新しい頭だけじゃ、全部はこなせないからな



うわあ。お前たち... ずいぶん思い切ったな。アクシマダー、それは何なんだ? かぎ爪か?



なんだよ? ま、まさか人生は円滑に動く機械じゃないとかって説教する気か?

いや... その...

好きにすれば
いいさ。でもオレは
機械に
頼らないでいく。

そんなの
必要ないって
証明してやるよ

ああ、そう。まあ、
エコーの分もうちらが
頑張るよ

ス、
スポーツマン
シップもいいけど、
みんなの足は
引っ張るなよ

レース
参加者の
皆さんは、
スタート
ラインに
ついて
ください!

ルールは
ご存じの通り——迷路の
反対側にたどり着き
さえすれば、どんな
手段を使っても
構いません!

一着に
なった者が、
スクラップ杯と
「ゾウン最高の
ワル」の称号を
手に入れます!

位置に
ついて...
よーい...

ドン!



レース
開始です!



これは思ったより苦勞する
かもな。ゼロ・ドライブが
ないのは相当デカイぞ



あれもこれも、やり直したい
ことだらけだ

どうした、
小僧?



あの
派手な動きはもう
しないの?

よ、よお、お二人さん。
どっちなタイムマシンを
持ってたりしないか?
このレース中だけでも
借りたいんだけど



トップは
金属の脚を持つ
“レッド”です…

→ハアツ→



でも、ゾウンで一発勝負
の人生を送るなら…

うわっ。
待って!

…困難を乗り越える方法を
学ばないといけない



…間抜けな
恰好をした少年と
生意気そうな少女が
最後尾です…

追い上げなきゃ!
ロケット・ニー、
オン!

パルクール
ブーツ、
くっつけ!



わあああ!

よっと!

SQUESH



いたっ!

うーん。
動けない!
やっぱり
粘着力が
強すぎた
みたい

THUD



うらっ!

KLACK

かぎ爪の少年は
曲がる場所を
間違えた
ようです…

へっ。上に
登っちゃえば
曲がる必要なんて
ないのさ

→ハアツ→

追い抜いて
やる、
レッド!

ふんっ!

無理
だね!

CRASH

ヤアアアア!

勝者は——“ゾウンの
迷子たち”の一人…

頭に何か
付けている
あの少年です！

みんな見たか！？
“壁って何？”
って感じだったぜ

すごかったね

ふう。優勝は…
スキッズ？

スキッズは
レースに勝って…
オレは8位か

今見たことを
よく覚えておけ、
負け犬ども！

ゾウンの
迷子たち…そして
スキッズの
新しい頭を
ナメんなよ！

特別じゃない
っていうのは
こういう感じなのか。
自分がこんなに…
役立たず
だったとはな

役に立ちたい
ならレムを
助けて
あげて

おーい。

誰か
いない？

「光輝なる進化」施設

この勇敢なる者たちは…
単なる肉と金属の塊ではない



彼らはより大きな——ただ一つの大きな意識に身を捧げた。

一つの意識のために己の肉体を犠牲にしたのだ



部品を引き継ぎ彼らを称えようではないか



一つとなるのだ

一つとなるのだ



友よお前の献身には感心したぞ。実に素晴らしいものを見せてもらった…

これまでは愚かな夢でしかないと考えていたが、今は革新は可能だと確信している。我々ならきっと——

おい、一体何の集まりだ？





薬品が流出したようだな。パイプを爆破しちゃったのか？



爆発があった。彼らはその消火にあたった無私の英雄だ。我々は残った体を再利用することで彼らを称えているのだ

ほう？



だが、ケミテック工場にいる無私の上司から、このパイプラインを確保するように言われていてね。

お前たちパケモノには出ていってもらおう

我々は放浪者ではない。この施設は優れた文明を作るために必要な骨組みなのだ



優れた？ どういうこと？

見せたほうが早いだろう。すでに君たちは身体を拡張し、完全体になるための第一歩を踏み出している。次のステップを見ないか？

遠慮しておこう。私は自分の意識を持っていたいんでね



一つの意識を恐れる必要などない。欠陥を排除するだけのことだ。

我々に加われば、これから先、飢えや病に悩むことなく――





優れた、か…

見てみる—
こいつらには
感覚すらない

HSSSSSS

SPLASH



下等な
ケダモノめ—
我々は完全体だ!

兄弟よ—
我々も君たちと
同じように
身体拡張を
受けた存在。
同じ目標を
共有し—



もういい、
やっちなえ!

PLSHHH

VWOOM



まだまだ…奴らは
我々を拒み…
劣った
存在と呼ぶ

思い知らせて
やれ!

KLAK KLAK



我らこそ
優れた存在
なのだ!

WW
UHWW

WW
UHWW



一つの意識の力を見せるのだ!



あぁぁぁぁ!

TZZZZT

RAT-TAT-TAT-TAT

BLAM

VWOOOM

うぐっ...



PVVVWWW



うぐぐ...

SIZZLE



よ、予言者様...



友よ、一つとなるのだ。
お前は命を落としたが...



→プス、プスツ←

真実を
明らかにして
くれた



革新は
実現可能だと
証明して
くれた



そしてこいつらは、
決して革新を
受け入れないと示した

→ゲホツ←

こうした出来事は
今後も続くだろう

たとえ**身体拡張**を
受ける者が増えた
としても…

おい、なんか**文句**でも
あんのか？

ああ。我々は
完全体に
近づく運命に
あるというのに、
自由意志という
疫病に飲まれて
しまっている

あ、ああ…
オレも…
そう思うよ

体を変えても、
彼らの**意識**が
進化を拒むのだ

ならば**私**が
それを変える



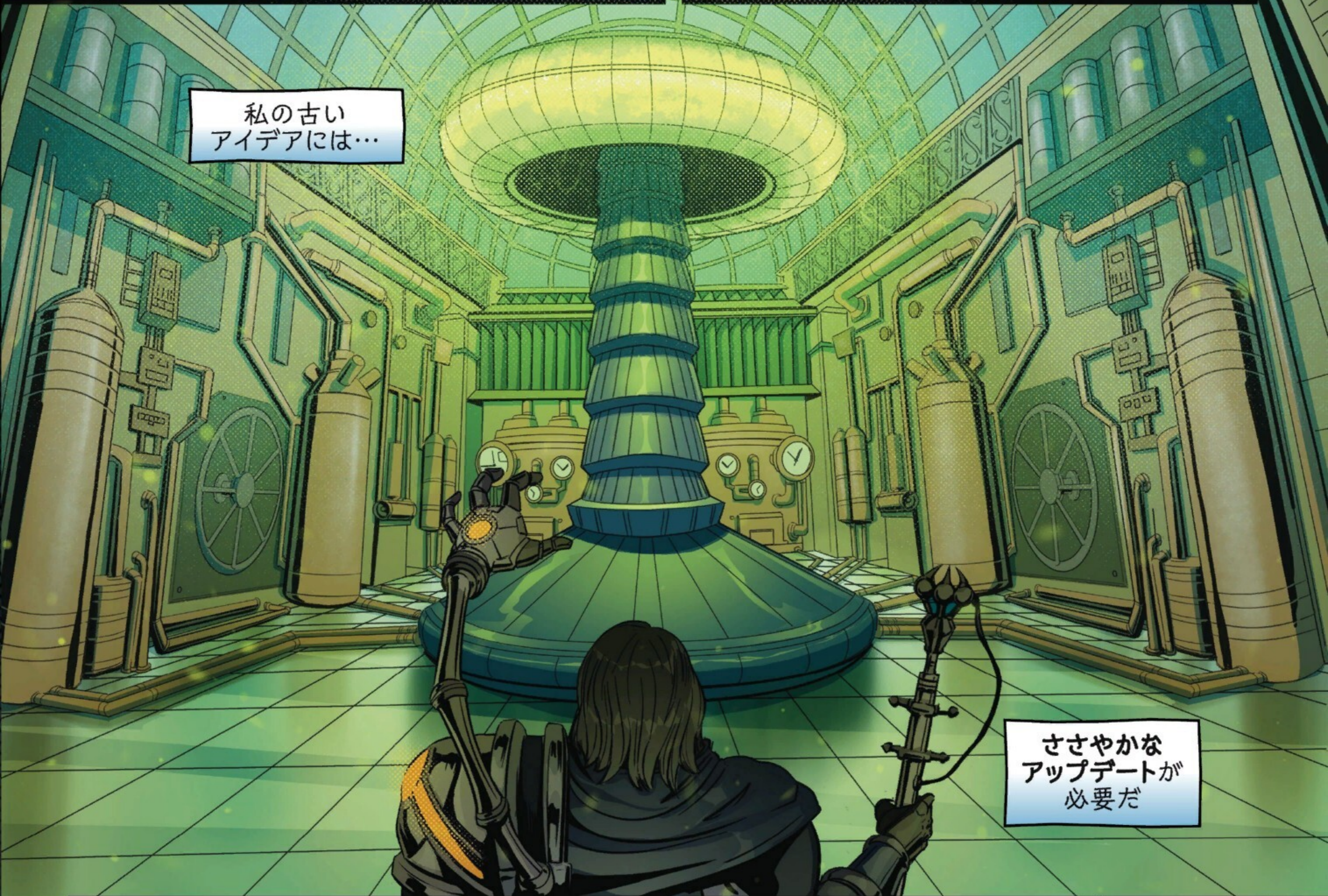
個人の意志は…

あ、ここは
整備塔です。
ヴァン・クレグさん
以外は立ち入り
禁止——



…排除せねば
ならない

うう…



私の古い
アイデアには…

ささやかな
アップデートが
必要だ



出力を少し
増加させ…



…全員に
届けるのだ

W
W
U
H
W
W

…そして世界を私の知る理想の世界へと変える

すべてのゾウン市民に、新しい身体改造を

みんな、昨日は変な態度を取って悪かった。

自分が特別じゃなくなった気がして、みんなの身体改造が気に入らなかったんだ。バカげてるよな？

お詫びとして、朝飯を持って――





お前はどうか、
アクシマダー？

そういや、
街角で大きな
ゴミ山を見つけたんだ…
像を作るのに
ぴったりなやつだ…
お前なら絶対に
気に入ると思うぜ？
それとも——



ゴミは必要ない。
オレは問題なく
機能している



スキッズ！なあ、相棒——
その頭で壊してほしい物があるんだ。
手伝ってくれるか？
楽しそうだろう？！



なぜオレが
そんなこと
するんだ？



そ、そうか。
スキッズが…
頭突きをしたがらない
なんて。そんなこと
初めてだ。これは…
ヤバいかも

二人は
大丈夫か？
お前たちは——？

アタシは
平気

僕も
レムのままだよ

よし。つまり
これが何であれ、影響を
受けたのは——

身体改造を
受けた三人の
おバカだけ

その通り——
きっと身体改造に
問題があるんだ。
すぐに真相を
突き止めるぞ。
その前にオレは
父さんの
身体——

ハッ
父さん！

父さんの
手術は今日の
朝からだ

続く...